

こおりやま広域圏若手職員の新しい発想  
**チャレンジ「新発想」研究塾**  
**を開講します**

令和元年 5 月 14 日  
 郡山市政策開発部  
 政策開発課  
 担当：高橋 諒  
 TEL：924-2021

こおりやま広域圏の若手職員をメンバーとする、チャレンジ「新発想」研究塾 2019 を開講します。

研究塾のスタートにあたり、開講式を行います。

- 1 日 時 5月17日(金) 午後1時～午後1時30分  
 2 場 所 市役所多目的ホール3 (西庁舎3階)  
 3 内 容 研究塾の塾長である市長から講話を行います。  
 4 その他 開校式終了後、塾生の理解等を深めるため施設見学等を行います。
- ・施設見学 (午後1時30分～午後4時20分)
    - ① 産業技術総合研究所 (郡山市待池台 2-2-9)
    - ② 麓山調整池 (麓山一丁目 (21世紀記念公園内北側))
  - ・オリエンテーション (午後4時30分～午後5時15分)  
 (市役所多目的ホール3 (西庁舎3階))

<チャレンジ「新発想」研究塾>

2018年度からこおりやま広域圏の若手職員を対象とし、政策形成能力の向上と、新しい発想による知恵と工夫を活かした実効性のある施策創出を目指し調査研究に取り組み、毎年10月を目途に研究成果をまとめ提言、発表を行うこととしています。

今年度のメンバーは22名 (これまでの2倍) で、公募により決定しました。  
 (須賀川市1名、田村市3名、本宮市2名、鏡石町1名、三春町3名、二本松市1名、郡山市11名)

※ 詳細は別紙のとおりです。

# こおりやま広域圏チャレンジ「新発想」研究塾2019について

## 1 チャレンジ「新発想」研究塾の趣旨等

- 地域を取り巻く社会経済情勢の変化や、住民の価値観が多様化する中、住民ニーズを的確に捉え、魅力あるまちづくりの実現が必要である。
- 住民と価値観を共有し、新しい発想のもと自性を発揮し、知恵と工夫を活かした自主・自立のまちづくりを行う。
- 住民生活を直視し、創意と工夫を凝らした実効性のある施策を創出するため、調査研究を重ねながら政策形成能力の向上を図る。

## 2 研究塾2019のポイント

- 「こおりやま広域圏連携中枢都市圏」の関係市町村の若手職員とともに実施し、こおりやま広域圏の圏域全体の課題解決に取り組む。  
(郡山市11名、須賀川市1名、田村市3名、本宮市2名、鏡石町1名、三春町3名、二本松市1名)
- 研究分野【広域連携で解決すべき課題への取組み】
  - ① 健康福祉分野(SDGsにて重要な「健康」をテーマとした健活プロジェクトなど)
  - ② 人口交流分野(人口減少時代において多様な人材を呼び込み活躍を促すプロジェクトなど)
  - ③ 地域経済分野(地域に根ざし、継続的に発展し続けることができる産業モデルなど)
  - ④ ICT分野(ICTを活用し、30年後も住みたいスーパーシティの形成プロジェクトなど)

## 3 メンバーの構成

- (1) 年齢 概ね35歳以下の職員(平成31年4月1日現在)
- (2) 人数
  - ・ 班構成: 1班5名~6名(班長1名、副班長1名、班員3~4名)
  - ・ 班数: 4班
  - ・ 研究塾の代表・副代表各1名を選任(班長・副班長以外から選出)
- (3) 研究塾生選定方法
  - ・ 公募により研究生を募集

## 4 進め方・スケジュール

- (1) 研究テーマの設定
- (2) 調査研究(週1回・2時間程度、その他時間外に自主的な研究を進める)
- (3) 塾長(市長)参加による報告会の実施(10月上旬)

4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬
研究生募集通知	塾生決定	開講式						先進地視察					報告会開催
調査・研究													

## 5 研究成果

- (1) 調査研究のまとめ及び報告書の提出
- (2) 報告会の実施(市長、関係市町村長、関係部局長等が出席)
- (3) 事業化に向けた関係部局との調整

### 【参考:これまでの成果】

- ・イクメンハンドブックの発行
- ・育パパサポート奨励事業
- ・移住・定住ポータルサイトの開設
- ・官民連携ポータルサイトの開設